

新館1階 地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	1	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域でのその人らしい生活を支えていく為に、ほんわかハウスでは『入居者お一人お一人が「主人」であり、入居者と職員は生活を共にするパートナーである。入居者お一人お一人の人格が尊重され、個々人のご希望に沿ってありのままに生活する事が出来、日々の生活に喜びと自信を持って頂ける』ことを理念としている。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者及び全職員が理念を共有している。理念に即したケアが実践できるようミーティング等で話し合い、ケアの実践にあたっている。理念に関しては、玄関、事務所等の目につく所に貼付し、常に意識することを心掛け、理解できるように努めている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	来訪時に目に留まるよう、玄関前に理念を貼付している。又、利用契約時、家族会や地域運営推進会議などの機会に説明を行っている。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会主催の行事参加や、町内清掃にも積極的に参加し、近隣の方とすれ違う際には挨拶をするよう心掛けています。また、年末にはホームの餅つき会に近隣の方にも参加して頂き交流を図っている。ついたお餅を近隣の方におすそ分けするなどして日常的なお付き合いをさせて頂いている。	0	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に属し、一住民として自治会主催の七夕祭りや運動会、敬老会等の行事に参加している。また地域の清掃等にも積極的に参加し、地域の方との交流に努めている。その他にも、中学生の職場体験の受け入れや、子供会の廃品回収の協力を行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	全職員参加のミーティング時に、「地域貢献として何が出来るか」を話し合う場を設けている。現在では地域の幼児に対しての見守り等を行っている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員全員が評価制度の意義を理解している。評価の結果は真摯に受け止め、ケアの向上の材料としている。	0	
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、地域の皆様の予定とあわせながら会議を開催して、ホームでの取り組みの紹介や食事会などを催し皆様からの助言、意見交換を行える場を設けている。会議録は職員間で回覧し、内容を共有する事でサービスの向上を目指している。	0	
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		1	相談は電話にて行っている。運営推進会議の場を借りて、市町村担当者と連携の方法を検討し実践していきたい。
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員に関しては研修や勉強会などの機会を設け制度の理解に努めている。またご家族にも家族会などの折を見て、資料の提供や制度の説明をするなどして理解を深めて頂いている。制度の利用が必要な場合には、出来る限りの支援をしている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の為の話し合いをする時間を設けたり、適度な休憩や休養を取るなどして職員のストレス軽減にも努めている。また管理者は、職員の心身の状態の把握に努めると共に、疲れ、ストレスの軽減を図るよう配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	理念を 実践す るた めの 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約時には十分な時間をかけ、利用者、ご家族の不安を取り除きながら理解、納得をして頂いている。契約後に不安な点があった場合や、解約希望時などにはその都度対応させて頂いている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者自らが意見、不満、苦情を忌憚なく言う事ができる信頼関係作りに努めている。利用者、またご家族からご本人の気持ちを代弁されて、意見や苦情があった場合には、職員間で話し合い、ご本人の意見、意向を日々の生活の中に反映する事が出来るよう努めている。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来訪された際に近況を報告している。ホームでの生活の写真を綴った個々のアルバムを見て頂いたり、月に1回、写真付の手紙をお送りし、定期的な報告もあわせて行っている。また金銭管理や健康上の報告・相談に関しては必要に応じて電話や手紙等で行っている。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人内に相談窓口を設け意見や不満、苦情を表せるようにしている。ご家族より頂いた意見や不満、要望に関しては真摯に受け止め、職員全員がその問題を共有し、問題の改善・向上に努めている。またご家族来訪時には、話しかけやすい雰囲気作りに努めている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全職員参加のミーティングや個別に意見や提案を聞く機会を随時設けている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況変化等にも対応できるように、勤務表作成前に全職員の希望を聞き、一月を通して安定したケア、かつ安全安楽な生活支援が行えるよう調整に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者との馴染みのある支援関係を作る為に、特別な理由がない限り異動は行っていない。又、離職を最小限に抑えられるように管理者、全職員間でコミュニケーションを図っている。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	0
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたり特別な選考等は行っていない。事業所の職員に関しては個々の能力の把握に努め、長所を伸ばせるような支援・指導を行っている。 又、職員が意見、提案をしやすい環境作りに努めている。配属に関しては、ユニットの状況等を考慮して行っている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権教育啓発を学ぶ為に、地域での勉強会に参加し、それをもとに内部でも勉強会を行っている。	0	
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	OJTを含め、法人内の事業所と合同でのテーマ別勉強会や新人研修等を行っている。又、外部の研修を有効活用し、勤務を調整しながら職員の適性に合わせ参加させている。その研修内容をフィードバックしながら職員の質の向上に努めている。制度の改正・変更などは、その都度情報提供を行っている。	0	
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福岡県GH協議会主催の研修に参加したり、ブロック内での研修や意見交換の場を活用し交流を図っている。又、事業所主催の餅つき会等に他の施設の利用者さんや職員を招き交流している。研修での内容は全職員にフィードバックするようにし、サービスの質の向上に努めている。	0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	休憩が取れる時間や場所を設け、息抜きが出来るようにしている。又、職員同士の食事会なども開き、ストレスの軽減に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	夏季、冬季のボーナスは職員個々の自己評価を行い、その評価を反映している。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にご本人にお会いし、困ってる事等聴く機会を作っており、その方のニーズを受け止めれるよう努力している。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学時や入居申し込みに来られた際お話を伺い否定したりせず話を聴き、受け止める努力をしている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人・家族の話しを十分に時間をかけお聞きしている。その中で、必要に応じて他のサービスの情報を提供している。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前の見学時、他の入居者様と一緒にお茶を飲んだりして頂いている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続これ までの関 係への支 援の関 関	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	季節の行事、古い風習等教えて頂き一緒に参加している。新聞やテレビ等を一緒に観て喜怒哀楽を共にしたり、入居者様の悩みを聞く機会を作り、共に支えあう関係を築いている。また料理を教えて頂いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	月に1回ご家族に手紙を送っている。時折電話や来訪時に近況を報告している。御家族からのケアや諸手続き等の相談があった際にはその都度対応させて頂いている。急な状態の変化があった時は、ご家族に電話報告している。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族やご本人との会話を持ち、バックグラウンドの把握に努めている。ご家族来訪時一緒に居室へ入り会話の橋渡しをしている。来訪時にご本人の思いを家族に伝えている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に確認を取った上で、付き添い外出したり、電話を掛けて頂いている。以前住んでおられた所の友人からの電話や来訪された際の対応に努めている。入居前によく行かれていた場所にドライブに行ったり、知り合いのいる店に遊びに行ったりしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	共同で簡単な手作業をして頂いている。作業の中で、各自役割を持って頂いており、分からない方には、分かる方がその都度教えて下さっている。リビングでの席の配置は、入居者同士の相性を考慮して決めている。その人に合った作業を見つけてして頂いている。別ユニットへも行き来できるようにしている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	連絡を取ったり、希望がある時は、伺う時もある。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	1	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	直接ご本人に話を持ちかけている。困難な場合、御家族の意向を聞いている。日常の会話の中で、ご本人の希望を引き出せるような声掛けをし、把握に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や御本人との会話の中で情報収集を行い把握に努めている。入居前に御家族に記入して頂いたり、担当のケアマネージャー等から情報を提供してもらっている。来訪者との関係や思い出話しなども伺っている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	睡眠・排泄・食事量・入浴においてはチェック表や記録に記入している。心身の状態・有する力においては個人記録やカルテに記入している。血圧測定・検温は毎朝行い、その日の状態の把握に努めている。歩行状態の観察。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月ケアカンファレンスを行っている。介護計画更新前にご本人とご家族に希望をお聞きしている。医師と連携を図り、ケアに生かしている。ご本人にどのように過ごしたいか要望を伺い、日々のケアに反映出来るよう取り組んでいる。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	見直しシートを活用して、見直しを行い介護計画を作成している。状態が変わった時点で必要な関係者と連絡を取り合い、ケアプランを作り変えている。必要時にケアカンファレンスを行っている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアの見直しがし易いようにケアプランチェック表を用いている。実践した結果等を個人記録に残し、情報を共有している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族から要望があれば他科受診等職員が付き添っている。ご夫婦で入居されているが、ご家族の希望で別の階、同じ所に居ることをお知らせしていない。行事で一緒になる時は職員を多く配置し、個別の対応(外出等)を行うなど可能な限り柔軟な支援をしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防団や消防署の方、地域の方を交えての避難訓練を行っている。月2回歌の会をボランティアの方主導で行ってもらっている。校区公民館との交流も図っている。	0	
	4		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	ご本人・ご家族より他のサービス利用の希望はないが、必要に応じて電話にて情報を頂いたり、出かけてご本人に合う状況、程度等確認している。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの方にも参加して頂き、必要に応じてアドバイスを頂いている。	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所のかかりつけ医の他、ご本人・ご家族が要望される場合は他科を受診して頂いている。状態が変わった時は、かかりつけ医に報告し、受診又は往診してもらっている。医療連携日報をつけ、かかりつけ医との連携を図っている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	入居者様のごことで気になる事や状態の変化があった場合は、医師に相談し必要に応じて治療を受けて頂いている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診日やそれ以外の日も相談し、アドバイスをもらっている。医療連携日報に状態等記入し、看護師と連携を取っている。職員の中に看護師があり、すぐに相談や診てもらえるような状態にある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご本人・ご家族・担当医との話し合いにより退院日を決めている。又、職員は病院関係者と情報交換を行っている。お見舞いに行き、職員は顔を見せるようにしている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居される際、ご家族より終末期に関するケアの意向をお聞きし書面化している。ご家族の意向をもとに、ミーティング等で話し合い方針を共有している。個人情報にご本人が終末期にどのように過ごしたいか記入する欄を設けている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ミーティング時にハウスで「できる事・できない事」を話し合い、医師と共に支援に取り組んでいる。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	御家族との話し合いを充分に行い、関係者間で情報交換を行っている。移動後、ご家族より様子を伺ったり、希望があればお尋ねして、ご本人・ご家族の不安感の軽減に努めている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	0	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレへの声掛けは、基本的に入居者様の耳元で声掛けを行い一緒している。人が沢山いたり、話しにくい内容の時は場所を移動したり、居室にて話を聞いている。できる事・できない事を見極めた上で声掛けを行っている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	服選び等どれが良いか声を掛け、ご本人と一緒に選んでいる。ご本人の希望を優先している。各自の理解力に応じて言葉を区切り、短い文章で説明を行っている。食べたい物を聞き献立に取り入れている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の様子を見ながら今何をしたいか伺い、その方のペースで過ごして頂いている。大まかな行事以外は予定を決めず、その日したい事をして頂いている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	要望がある際には、予約して行って頂いている。お店へ行くのが困難な方には訪問美容を利用して頂いている。ご本人が希望されるお店の商品を購入して頂いている。服などは一緒に買物へ行き、好みの服を選んで頂いている。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を作る際、好み等を聞いて取り入れている。買い物へお誘いし一緒に食材を選んで頂いたり、野菜切りや盛り付け等、調理の一連の作業を本人の出来る範囲で行ってもらっている。食後は流し台まで下膳し、片付けをされている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	買い物時に好きな物を購入して頂いている。又、ご本人の好みの物を望まれる時に提供している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表をつけており、ご本人がトイレに立たれない時は時間を見て声を掛けている。ソワソワされている様子が見受けられたら声を掛けている。便座に座られた際、冷たい思いをされないよう適温に温めている。夜間トイレ覚醒が多い方には、居室にポータブルトイレを設置し、その都度どちらで排泄されるか伺っている。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ご本人のその時の気分又は、会話の中にて入浴の声掛けを行い、入浴したい時間等希望を聞き入って頂いている。ご本人の希望される入浴剤を使用したり、丁度いい湯の温度に合わせて職員確認後入浴して頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	無理に起きて頂かず、ご本人の希望に沿って起きて頂いている。布団を干したり、リネン交換等定期的に行い清潔な寝具で休んで頂いている。室温の確認を行い、ご本人の望まれる照明の明るさで調整している。疲れておられる様な時は声を掛け休んで頂いている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴史や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ドライブや散歩にお誘いしている。自発的に行ってもらえるよう、入居者様の目に付く位置に洗濯物や料理を置き、畳んだり盛り付けして頂いている。入居者様が出来るところまで職員が準備し、そこから先をやって頂いている。月1回の歌の会で皆の前で歌を披露して頂いたりもしている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	「買い物に行きたい」と言われた時は、預かっている財布をお渡しし購入して頂いている。買い物にお誘いし、好きな物を購入して頂いている。ご本人が希望された時は、買い物等に関係なく金庫から財布を出しお渡ししている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ドライブや散歩等、ご本人が行きたい時に同行している。日中は施錠をせず、いつでも出掛けられる状態である。ご家族に電話し一緒に外出されることもある。マンツーマンにて外食や買い物に出かける機会を設けている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に2回ユニット合同で野球観戦に行っている。ご本人の希望された場所へ外出支援(美術館・博物館等)をしている。入居者様の親族宅への外泊。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族より断られない限り、ご本人の希望がある時は、いつでも掛けて頂いている。宅配物が送られてきたら、お礼の電話を掛けて頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	来訪時職員は笑顔で挨拶するよう常に心掛けており、お茶をお持ちした際スタッフも会話に加わり、話す機会を持つようにしている。居室にて会話しておられる際、椅子をお持ちしゆっくり過ごして頂ける様に工夫している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、夜間転倒の可能性が高く、職員が傍に付けない場合のみ、ご家族に了解を得てベット柵を使用して一時身体拘束をする時がある。ご家族には同意書を頂き、行政への届出も行っている。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	朝は8時開錠、夕方は季節により施錠の時間を変えている。日中は自由にハウス内外へ出入りできる状態である。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	玄関や必要な方には居室にセンサーを設置しており、所在確認や安全に配慮している。夜間・日中問わず、毎時間置きに居室で過ごされている方の様子確認を行っている。外に入居者様がおられる時は、職員同士声を掛け合い見守りを行っている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等は安全にご自分で使用できる方のみ居室に置いている。包丁やはさみは本数を毎日確認し、入居者様が使用される場合は、職員の目の届く範囲で使用して頂いている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故が発生したら事故報告書に記入し、職員全員で対策を立て実践し、再発防止に努めている。入居者様一人ひとりの歩行状態を把握し必要に応じて介助や車椅子を提供している。服薬前に名前・日付等を声に出して確認しており、薬箱から出す時も人数等チェックし二重の確認を行っている。年に2回消防訓練を行っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的に勉強会や研修へ参加し、急変時等の対応を確認している。年に1回救命救急の実践研修を行っている。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回消防訓練を行い、地域の方々にも参加して頂いている。又、内1回は消防署員立会いのもと行っている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居者様一人ひとり、起こり得るリスクについてはご家族にお話しをさせて頂き、ご理解を頂いた上で、対応策を話し合いケアを行っている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	記録や申し送り等で伝え、医師と連絡を取っている。毎朝バイタル測定を行っており、熱感や異変があった時は、速やかに検温し、状況に応じて医師の指示を仰いでいる。毎食後の食事量のチェックを行っている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	様子観察が必要な薬は記録や申し送りで職員全員で共有し、こまめに医師と連絡を取っている。薬が変更になった場合、状態の変化に留意し様子観察を行っている。飲み合わせの悪い薬や飲食物等把握している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、希望される方には牛乳を提供している。ヨーグルト・ヤクルト・食物繊維の多い食材をメニューに取り入れている。歩行が可能な方には歩いて頂き、身体を動かされるよう働きかけている。又、必要な方へは腹部マッサージを行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医より管理指導を受け、個別にブラッシングを行っている。義歯の方は毎食後外して頂き、ブラッシングして頂いている。出来ない所は職員の方で行っている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食欲がなかったり、食事が少ない場合は好まれる物等で補食して頂いている。状態に合わせて刻み食やソフト食を提供している。趣向に合わせて、予め嫌いなものは別の物に変えて提供している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	定期的に勉強会で取上げ再確認しており、毎月のミーティング時に注意を呼びかけている。必要な道具や予防着類を各場所に設置し、補充や作り置きをしている。マニュアルを作成し、対応を職員が把握している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・包丁等、使用後はハイターにて消毒後必ず乾燥機にかけている。台所周りのふきあげ。肉・魚・野菜等は、その都度まな板、包丁を変えて調理している。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花や木を植え、玄関先でもゆっくり出来る空間作りをしている。ベンチを置き、いつでも腰掛けられるようにしている。段差をなくし緩やかなスロープとなっている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や居室等は不快にならないような照明の色にしてある。廊下の照明は3種類あり、その場面に合わせて使い分けられるようになっている。リビングや玄関に花を飾ったり、廊下に入居者の写真を飾っている。廊下にソファや藤椅子を配置し、くつろいで頂ける空間を作っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にソファを設置している。玄関先や玄関ホールに設置している。折りたたみ式ベンチを利用し思い思いの場所で過ごして頂いている。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	以前自宅で使用されていた物を持ってきて頂けるよう話し、工夫している。本人の毛布を家から持って来てもらっている。新しく購入されるものは出来るだけ本人と一緒にいき、好きなものを購入して頂いている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	居室は1日1回換気を行い、リビングは状況に応じ換気するようにしている。その日の体調や気温に応じて温度調節を行っている。トイレ使用後臭いが残っている場合は消臭スプレーをふっている。乾燥している時期は加湿器を使用している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	動線等考え安全に出来るだけ自立した生活が送れるよう、家具を配置している。各所に手摺を設置している。途中座って休めるよう椅子を設置している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	自分の居室が分かりにくい方には、表札をご本人の目の高さに合わせて見えやすくしている。浴室やトイレのドアに『湯』と書かれた暖簾や札を下げています。リビングに大きな日めくりカレンダーを取り付けており、各場所にもカレンダーを設置している。箸等ご自分の物に名前を記入してをらっている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前やベランダに季節の花を植えている。座って活動できるように、玄関にベンチを設置している。野菜を育てている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	4	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。